

安芸太田町商工会(経営発達支援事業)経済動向調査 (2022年1月～3月期)

1) 今期の状況～先行き見通し

(単位:ポイント)

項目別DI値(※)	安芸太田町2022春期															
	全国(2月)		全産業計		製造業		建設業		卸小売業		飲食・宿泊業		理美容・クリーニング業		その他の業種	
	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し
売上・収入 総額	△ 23.5	△ 25.2	△ 56.8	△ 41.9	△ 63.6	△ 72.7	△ 28.6	△ 30.8	△ 86.7	△ 66.7	△ 64.3	△ 35.7	△ 100.0	△ 100.0	△ 31.3	0.0
売上・受注 客単価	12.4	13.5	△ 50.7	△ 37.0	△ 45.5	△ 45.5	△ 35.7	△ 30.8	△ 86.7	△ 86.7	△ 64.3	△ 21.4	△ 33.3	△ 33.3	△ 25.0	△ 5.9
受注数・来客数	—	—	△ 62.2	△ 46.6	△ 54.5	△ 54.5	△ 28.6	△ 38.5	△ 100.0	△ 93.3	△ 71.4	△ 38.5	△ 100.0	△ 100.0	△ 43.8	0.0
資金繰り	△ 20.8	△ 21.9	△ 33.3	0.0	△ 27.3	△ 61.5	△ 28.6	0.0	△ 53.3	0.0	△ 33.3	0.0	△ 25.0	0.0	△ 25.0	0.0
材料・商品仕入単価	△ 61.2	△ 59.2	29.6	38.0	45.5	50.0	69.2	71.4	20.0	26.7	21.4	28.6	△ 25.0	△ 25.0	14.3	35.7
材料・商品在庫数	—	—	△ 24.6	△ 16.2	△ 20.0	10.0	0.0	0.0	△ 53.3	△ 60.0	△ 23.1	△ 16.7	△ 25.0	△ 25.0	△ 21.4	0.0
採算性・収益性	△ 35.5	△ 34.2	△ 56.9	△ 53.4	△ 45.5	△ 72.7	△ 30.8	△ 35.7	△ 100.0	△ 100.0	△ 61.5	△ 30.8	△ 100.0	△ 100.0	△ 31.3	△ 18.8
従業員数(臨時含む)	14.2	15.5	△ 18.3	△ 21.0	△ 40.0	△ 33.3	△ 36.4	△ 33.3	△ 11.1	△ 30.0	△ 18.2	△ 25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
【総合景況感】	△ 33.9	△ 34.2	△ 59.2	△ 51.4	△ 45.5	△ 63.6	△ 33.3	△ 30.8	△ 86.7	△ 93.3	△ 64.3	△ 46.2	△ 100.0	△ 100.0	△ 46.7	△ 12.5

調査対象 267 事業所 : 回答 77 事業所

※DI(ディフュージョンインデックス)値とは
 ゼロを基準として、プラスの値は「景気の上向き傾向(良い)」回答割合が多いことを示し、
 マイナスの値は「景気の下向き傾向(悪い)」回答割合が多いことを示す。
 各項目の判断状況を示すが、「景況感」であり「実数値を表す数値」ではない点に留意。
DI値 = (増加・好転など「良い」回答割合) - (減少・悪化など「悪い」回答割合)

2) 設備投資状況・設備投資の見込み

設備投資	全産業計		製造業		建設業		卸小売業		飲食・宿泊業		理美容・クリーニング業		その他の業種	
	直近 (n=76)	向こう (n=74)	直近 (n=11)	向こう (n=10)	直近 (n=15)	向こう (n=15)	直近 (n=15)	向こう (n=15)	直近 (n=13)	向こう (n=13)	直近 (n=5)	向こう (n=4)	直近 (n=17)	向こう (n=17)
実施していない	84.2%	86.5%	72.7%	70.0%	86.7%	86.7%	100.0%	100.0%	69.2%	92.3%	100.0%	100.0%	82.4%	76.5%
実施している	15.8%	13.5%	27.3%	30.0%	13.3%	13.3%	0.0%	0.0%	30.8%	7.7%	0.0%	0.0%	17.6%	23.5%
土地	—	1件	—	1件	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
工場・店舗・建物	1件	—	—	—	—	—	—	—	1件	—	—	—	—	—
機械・工具・器具	6件	7件	3件	3件	1件	1件	—	—	1件	—	—	—	1件	3件
車両・運搬具	5件	3件	1件	—	2件	2件	—	—	1件	—	—	—	1件	1件
付帯施設	—	2件	—	1件	—	—	—	—	—	1件	—	—	—	—
OA機器・レジ	1件	1件	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1件	1件
福利厚生施設	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	2件	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1件	—

※複数回答・無回答あり

※直近3カ月を「直近」、向こう3カ月(見込み)を「向こう」と記載

3) 経営上の課題・問題点

ポイント数	課題・問題点
18.2	需要の停滞
17.9	原材料価格の上昇
8.4	従業員の確保難
7.4	販売単価の低下・上昇難
6.1	生産設備の不足・老朽化
5.8	材料・人件費以外の経費
5.0	製品ニーズ変化への対応
4.7	大企業の進出による競合
4.2	熟練技術者の確保難
2.4	取引条件の悪化

【課題・問題点のポイント計算方式】

重要度「1」として回答された場合「3ポイント」
 重要度「2」として回答された場合「2ポイント」
 重要度「3」として回答された場合「1ポイント」
 として算出し、合計数を総ポイント数で割る。
 ポイント上位10項目までを掲載。

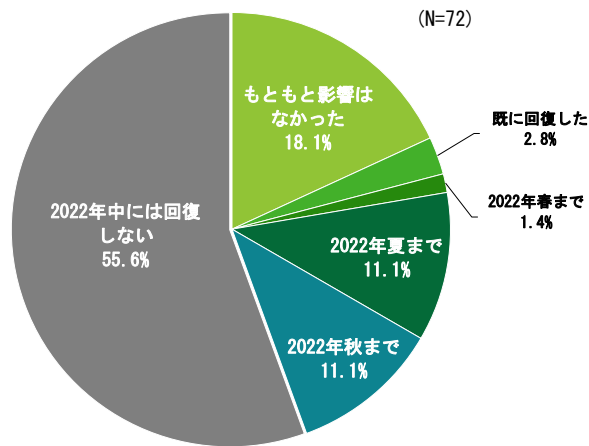
※「その他」「特になし」はランキング除外

以下、業況の変化や業界の動向に関する事業所からのご意見

製造業	「受注案件の出回遅れによる案件不足」「燃料や各資材の値上げにより、経費の増加がすでに始まっており、今後バランスがとれなくなるのでは」「気候変動による農産物の収穫減等」「新規参入業者の増加で悪化の傾向」「コロナで客が少ない」「国際状況の変化」「ロシア、ウクライナ戦争の影響」「業態が変化しそう」
建設業	「安芸太田町発注大変少ない」「現場が遠方（近隣の発注工事が少ない）のため、燃料代がかなり負担である」「受注工事に対応するための商品や資材が不足しているため工期が延び、経費がかさむ」「発注単価に比べ市場単価が高すぎる（発注単価の早急な見直しが必要）」「仕入先等の値上げ」「原油高によるコスト高、4月からの資材価格の値上げ等により、経営が悪化しそう」「色々な原因があると思います。病気（コロナ）、政治（戦争、思想）経済（材料不足）自然環境、我が国の問題だけではなく、世界的な事で事情が変化すると思います。」「集中豪雨や地震、自然災害が今後も発生すると想定され公共事業関係費は2020年とほぼ同額の水準のため公共工事は多いと思われます」
卸売・小売業	「お客様の高齢化」「コロナウイルス感染症の流行により飲食店の休業」「卸売業者の減少、客数の減少」
飲食・宿泊業	「コロナウイルスのため」「コロナで今シーズンも昨年より悪化した。予約を制限した。」「アウトドアレジャーの为天候や景気に左右され、コロナ対策等影響がある」
理美容・クリーニング業	「外出の減少」「人口減」「需要の停滞」
その他の業種	「野菜の単価（特にJA）が不安定。材料費、運賃などがかかるが上がらない。」「コロナで客が減った」「コロナがいつ終点するかわからない上、団体客が動くのが全く予測できない」「コロナに加え新たにウクライナ戦争があり見通しが立たない」「車輛の入荷の遅れ」「現在はやはりウクライナ情勢。物価は仕入れの価格。」「コロナで規格の廃止や縮小でネットでの申し込みや受付に切り替わった」

4) 新型コロナウイルス感染症が流行して2年が経ちますが、事業の影響について、いつ回復すると思われていますか。

【全体】



【業種別】

(単位：%)

項目	もともと影響はなかった	既に回復した	2022年春まで	2022年夏まで	2022年秋まで	2022年中には回復しない
製造業 (n=11)	9.1	0.0	0.0	18.2	9.1	63.6
建設業 (n=14)	35.7	7.1	0.0	0.0	7.1	50.0
卸小売業 (n=13)	30.8	0.0	0.0	15.4	7.7	46.2
飲食・宿泊業 (n=12)	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	83.3
理美容・クリーニング業 (n=5)	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	80.0
その他の業種 (n=17)	17.6	5.9	0.0	11.8	29.4	35.3

5) 新型コロナウイルス感染症による売上や利益の低下をどのような方法で乗り越えられましたか（予定含む）。

(単位：%)

項目	融資	国・県・町からの支援金	補助金（小規模事業者持続化補助金）	新規事業の創出	仕入れ商品・仕入れコストダウン	ITの活用（Zoom等）	その他	乗り越えられない
全体 (n=65)	12.3	52.3	29.2	3.1	6.2	3.1	9.2	24.6
製造業 (n=10)	20.0	40.0	20.0	10.0	10.0	0.0	20.0	40.0
建設業 (n=11)	36.4	45.5	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	18.2
卸小売業 (n=11)	9.1	18.2	18.2	0.0	18.2	0.0	0.0	54.5
飲食・宿泊業 (n=14)	7.1	78.6	57.1	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1
理美容・クリーニング業 (n=4)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
その他の業種 (n=15)	0.0	66.7	40.0	6.7	0.0	13.3	20.0	6.7

※複数回答あり

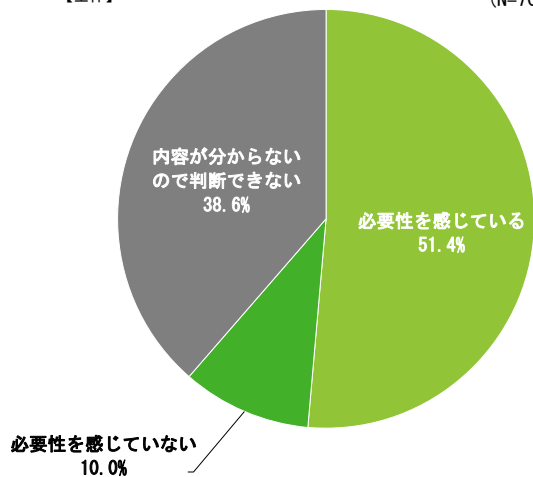
<その他>

- ・パート、アルバイト等の副業
- ・預金の引き出し
- ・施工方法の工夫
- ・他の仕事を入れた

6) 近年、想定外の自然災害やこの度の新型コロナが事業活動に大きな影響を与えています。現在、国が中心となって事業継続力強化計画（BCP）の策定に傾注していますが、そのことについて、必要性を感じていらっしゃいますか。

【全体】

(N=70)



【業種別】

(単位：%)

項目	必要性を感じている	必要性を感じていない	内容が判断できない
製造業 (n=11)	54.5	9.1	36.4
建設業 (n=14)	42.9	14.3	42.9
卸小売業 (n=14)	42.9	7.1	50.0
飲食・宿泊業 (n=13)	53.8	0.0	46.2
理美容・クリーニング業 (n=3)	66.7	0.0	33.3
その他の業種 (n=15)	60.0	20.0	20.0